



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東  
 コード番号 9994 URL http://www.yamaya.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山内 英靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	41,733	2.2	1,272	△25.0	1,303	△23.5	569	△29.4
2019年3月期第1四半期	40,835	△3.6	1,697	19.6	1,703	17.3	806	36.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 700百万円 (△34.1%) 2019年3月期第1四半期 1,063百万円 (19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	52.52	—
2019年3月期第1四半期	74.43	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,289	38,762	44.5
2019年3月期	71,454	38,423	45.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 32,592百万円 2019年3月期 32,323百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	87,600	6.0	3,100	3.1	3,100	4.5	1,500	6.4	138.35
通期	175,000	4.3	7,000	1.5	7,100	2.3	3,250	1.0	299.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1 Q	10,847,870株	2019年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2020年3月期1 Q	5,785株	2019年3月期	5,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1 Q	10,842,092株	2019年3月期1 Q	10,842,255株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [事業全般の概況]

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高417億33百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益12億72百万円(同25.0%減)、経常利益13億3百万円(同23.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億69百万円(同29.4%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、海外の政治・経済動向の不確実性などにより、個人消費におきましては、依然として先行き不透明な状況が続いております。今秋には消費税率の引き上げも予定されており、お客様の選別の目が一層厳しくなるこのような環境の中、当社グループは、地域密着を図り、地産地消・地産全消の拡大展開に取り組み、酒販事業と外食事業の協働体制推進に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間末において、酒販事業331店(前年同期比2店増)、外食事業991店(同244店増)、グループ合計店舗数1,322店(同246店増)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## [酒販事業]

酒販事業における売上高は294億64百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は8億66百万円(同17.4%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間は、新天皇が御即位なされ、令和と改元されたことで奉祝として吟醸酒などの売上が伸張しましたが、梅雨の低温で、夏季商品のビール、飲料が低調で、売上高は微減となりました。6店舗の新規出店、10店舗のリニューアル改装費用が増加しました。「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで社会に貢献する」という当社の経営理念に則り、一層のEDLC・エブリデー・ローコストを実践し、販売費等の圧縮に努め、引き続き、EDLP・エブリデー・ロープライスの実現を図るため、全般的、改善・改革を続けております。

新規出店として、青森桜川店、弘前樹木店(青森県)、能代店(秋田県)、気仙沼上田中店(宮城県)の4店に加え、借地契約の終了に伴う移設により、柳生店(宮城県)と江刺店(岩手県)の2店、計6店を開店しました。うち青森桜川店、弘前樹木店、気仙沼上田中店はダイソー併設店舗です。

2019年6月末における酒販事業の総店舗数は331店(前年同期比2店増)となりました。

## [外食事業]

外食事業における売上高は126億49百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益は4億2百万円(同37.8%減)となりました。

外食業界においては、お客様の選別志向は厳しく、原材料価格の上昇や人手不足の影響に加え、他業種を含めた競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。人手不足への対応として、新規出店を抑え既存店のサービスレベルの向上を図りつつ、外国人採用と教育訓練に注力し、グローバル人財の確保に努めました。つば八社運営店舗の売上が加わり増収となりましたが、食材価格の上昇が売上総利益額を圧迫し、人件費の上昇を主たる要因として販売管理費は増加しました。2019年6月末の飲食直営店は、521店(前年同期比51店増)、飲食FC店は、470店(同193店増)となり、飲食店の総店舗数は、991店(同244店増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

財政状態

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて18億34百万円(2.6%)増加し、732億89百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が15億72百万円増加し、商品及び製品が6億25百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて21億49百万円(6.8%)増加し、336億91百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて3億14百万円( $\Delta$ 0.8%)減少し、395億98百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて14億96百万円(4.5%)増加し、345億27百万円となりました。

流動負債は、買掛金で4億62百万円増加、短期借入金(1年以内返済予定の長期借入金を含む)で5億33百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて17億45百万円(6.4%)増加し、292億22百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて2億49百万円( $\Delta$ 4.5%)減少し、53億5百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて3億38百万円(0.9%)増加し、387億62百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月10日に公表した数値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,649	11,222
売掛金	4,407	4,475
商品及び製品	15,116	15,741
仕掛品	82	92
原材料及び貯蔵品	46	37
前払費用	989	1,012
その他	1,437	1,323
貸倒引当金	△188	△215
流動資産合計	31,542	33,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,853	36,802
減価償却累計額	△27,594	△27,619
建物及び構築物(純額)	9,259	9,183
機械装置及び運搬具	2,910	2,914
減価償却累計額	△2,666	△2,683
機械装置及び運搬具(純額)	243	231
工具、器具及び備品	9,437	9,485
減価償却累計額	△8,499	△8,514
工具、器具及び備品(純額)	937	970
リース資産	2,274	2,278
減価償却累計額	△1,657	△1,706
リース資産(純額)	617	572
土地	5,037	5,037
建設仮勘定	18	13
有形固定資産合計	16,113	16,008
無形固定資産		
ソフトウェア	9	9
のれん	10,128	9,953
その他	30	30
無形固定資産合計	10,169	9,993
投資その他の資産		
投資有価証券	1,169	1,157
関係会社株式	734	684
破産更生債権等	110	114
長期前払費用	170	184
退職給付に係る資産	31	29
差入保証金	9,878	9,826
繰延税金資産	1,491	1,544
その他	98	125
貸倒引当金	△54	△69
投資その他の資産合計	13,629	13,596
固定資産合計	39,912	39,598
資産合計	71,454	73,289

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,670	11,133
短期借入金	8,100	8,800
1年内返済予定の長期借入金	793	626
リース債務	182	174
未払金	2,724	3,068
未払費用	1,053	1,116
未払法人税等	1,239	652
未払消費税等	602	695
預り金	460	821
賞与引当金	886	393
その他	763	1,739
流動負債合計	27,476	29,222
固定負債		
長期借入金	295	180
退職給付に係る負債	277	281
リース債務	454	416
役員退職慰労引当金	595	548
資産除去債務	1,719	1,718
その他	2,212	2,160
固定負債合計	5,554	5,305
負債合計	33,030	34,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,813	5,798
利益剰余金	23,114	23,445
自己株式	△7	△7
株主資本合計	32,167	32,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	108
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	156	108
非支配株主持分	6,100	6,169
純資産合計	38,423	38,762
負債純資産合計	71,454	73,289

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	40,835	41,733
売上原価	27,075	27,258
売上総利益	13,759	14,475
販売費及び一般管理費	12,062	13,202
営業利益	1,697	1,272
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	18	20
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	7	5
その他	18	29
営業外収益合計	59	70
営業外費用		
支払利息	3	1
店舗改装費用	15	6
店舗閉鎖損失	7	7
災害による損失	—	13
その他	25	10
営業外費用合計	53	39
経常利益	1,703	1,303
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取補償金	26	—
特別利益合計	26	0
特別損失		
固定資産売却損	2	—
減損損失	114	29
その他	2	0
特別損失合計	119	29
税金等調整前四半期純利益	1,609	1,273
法人税、住民税及び事業税	476	558
法人税等調整額	110	△32
法人税等合計	587	525
四半期純利益	1,022	747
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	806	569

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,022	747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△47
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	41	△47
四半期包括利益	1,063	700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	522
非支配株主に係る四半期包括利益	213	178

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,455	11,379	40,835	—	40,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	309	0	309	△309	—
計	29,765	11,379	41,145	△309	40,835
セグメント利益	1,048	646	1,695	1	1,697

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において114百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,084	12,649	41,733	—	41,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	380	0	380	△380	—
計	29,464	12,649	42,114	△380	41,733
セグメント利益	866	402	1,269	3	1,272

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において29百万円であります。